

環境美化運動・花いっぱい運動を実施

5月25・26日、町内各所において町をきれいにする統一美化キャンペーンとして、環境美化運動と花いっぱい運動が行われました。

環境美化運動では、公道などに捨てられている空き缶などのごみを回収し、花いっぱい運動では、町内の主要な箇所にサルビア、マリーゴールドなどを植えました。



環境美化運動の様子
(今年は79団体のご協力により実施)



花いっぱい運動の様子
(今年は49団体のご協力により実施)

人権擁護委員から坂上小学校へ「人権の花」贈呈

6月24日、坂上小学校で人権擁護委員による「人権の花」の贈呈式が行われました。

「人権の花」運動は、児童が協力して花を育てることで、思いやりの心^{たなか のりこ}を育て人権への理解を深めることを目的としています。今回は、体育館にて田中則子委員から子どもたちへメッセージが届けられ、12台のプランターが贈呈されました。



人権擁護委員に任命

7月1日、人権擁護委員として^{うつぎ まり}宇津木真理さん(西汗)が新たに任命されました。また、6月30日で^{きくち もりこ}菊地守人さん(西蓼沼)が退任され、法務大臣より感謝状が贈られました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、地域の方の人権問題解決のお手伝いや法務局と協力して人権侵害による被害者の救済を行っています。また、多くの方に人権を尊重することの重要性を正しく認識してもらえよう、啓発活動や小中学校での人権講話等の活動を行っています。



宇津木さん



菊地さん



上三川町チームオレンジ「マリーゴールド」が発足

6月27日、町内で初めてチームオレンジが発足しました。「マリーゴールド」というチーム名は、「オレンジ色の太陽のような明るい花、マリーゴールドが、町民の手で町中に植えられているように、メンバーみんなで見守っているよ」という思いが込められています。

チームオレンジは、地域において把握した認知症の人とその家族の悩みや身近な生活面のニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐしくみです。

認知症になっても、上三川町で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して、活動をしていきます。



上三川産“にら”の贈呈

6月24日、本町でにらを栽培している「つのだ農園」さんから、上三川町立学校給食センターに、“にら”10kgが贈呈されました。

これは、子供達に食育の推進や地産地消の大切さを伝えることを目的として贈られました。

贈呈された“にら”は、当日の給食で「にらとわかめのスープ」として提供され、子ども達がおいしくいただきました。



つのだ かつひろ
(左から) 氷室教育長、津野田勝弘さん

ホタルの観賞会

6月21日、日産自動車株式会社栃木工場でホタルの観賞会が実施されました。

当日は、さおとめ五月女工場長をはじめとする総務課の社員が来場者をお迎えし、ホタルの先生である坂根義治先生さかねよしはる、たかはしたかのぶ高橋孝信先生の説明を聞いた後、近隣の幼稚園児とご家族、従業員とご家族など、約180名の方がホタルの観賞を楽しみました。

来場者の方からは「ホタルが見れてとてもうれしい、来年もまた来てみたい」などの声が聞けました。

